

教育職員免許法施行規則第二十二條の六に規定する情報について

一 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること。

1. 教員養成の目標

1) 幼児保育学科（幼二種免）

幼児教育に関する専門知識・技能の修得に加え、幅広い視野・知識・技能を持った人材の養成のため幼稚園教諭二種免許状の教職課程を設置し、様々な環境で育ち、違った個性を持つ子ども一人ひとりに限りない愛情を注げる教員を養成する。また、保護者に対しても正しくコミュニケーションができ、適切な助言ができる人材の養成を目指す。

2) 健康栄養学科（栄二種免）

現代社会における食の問題について、栄養教諭の使命を自覚した上で、児童生徒への個別及び集団指導を行い、食育の担い手として十分な知識や技術を身に付けることを目的に栄養教諭二種免許状の教職課程を設置する。また、学校内の教職員や児童生徒の保護者及び地域とも連携をとり、率先して食育を推進する存在になり得るよう養成する。

2. 教員養成の計画

1) 幼児保育学科（幼稚園教諭）

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	教職免許取得のために教育・保育の基礎的な知識・技能・態度を身につける
	後期	教育実習の成果を踏まえ、より具体的な教育・保育の理論と技術を身につける
2年次	前期	教育実習での部分実習・責任実習を見据え、保育の計画立案、指導、評価ができるだけの知識・技術を身につける
	後期	教育実習での成果を踏まえ、様々な保育ニーズに対応できる応用力を身につけ、総合的な保育実践力を高める

2) 健康栄養学科（栄養教諭）

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	栄養教育に関する基礎的な理論や手法などを習得する
	後期	栄養教育に関する具体的な知識・技術・活動を身につける
2年次	前期	栄養教育実践に関する基礎的な理論や手法などを習得する
	後期	栄養教育実践に関する応用的な知識・技術・活動を身につける

※[学位授与の方針](#)

※[教育課程編成・実施の方針](#)

二 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること。

学科	領域及び保育内容の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目等
幼児保育学科 (幼稚園教諭)	7人 清水誠、中村敏男、桐原由美、 大久保淳子、古木竜太、越智光輝、伊東一誉		5人 武内道郎、倉澤俊夫、 中平浩介、高橋淳一郎、 古橋真紀子

学科	栄養に係る教育に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等
健康栄養学科 (栄養教諭)	1人 富重慶子	2人 馬場和久、大野満奈

三 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること。

1. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学開設授業科目		
科目	単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
日本国憲法	2	くらしと法律 (日本国憲法)	2	
体育	2	健康・スポーツⅠ	1	
		健康・スポーツⅡ	1	
外国語コミュニケーション	2	英語ⅠA	1	
		英語ⅠB	1	
		英語Ⅱ		2
		フランス語		2
		中国語		2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理Ⅰ	1	
		情報処理Ⅱ	1	

2. 大学が独自に設定する科目

1) 幼稚園教諭二種免許

免許法施行規則 に定める科目	左記に対応する本学開設授業科目		
	授業科目	単位数	
科目		必修	選択
大学が独自に設定 する科目	保育のピアノ基礎Ⅰ	1	
	保育のピアノ基礎Ⅱ	1	
	保育の造形Ⅰ	1	

3. 栄養に係る教育に関する科目

1) 栄養教諭二種免許

免許法施行規則に定める科目	左記に対応する本学開設授業科目		
	授業科目	単位数	
科目		必修	選択
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項 ・食に関する指導の方法に関する事項 	学校栄養教育	2	

4. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

1) 幼稚園教諭二種免許

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目		
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	科 目	単位数	
				必修	選択
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	健康	1	
		人間関係	人間関係	1	
		環境	環境	1	
		言葉	言葉	1	
		表現	表現	1	
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目		
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	科 目	単位数	
				必修	選択
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		保育内容総論	1	
			健康領域指導法	1	
			人間関係領域指導法	1	
			環境領域指導法	1	
			言葉領域指導法	1	
			音楽表現領域指導法	1	
			身体表現領域指導法	1	
			造形表現領域指導法	1	

5. 教育の基礎的理解に関する科目

1) 幼稚園教諭二種免許

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目		
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		保育者・教職原論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度論	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援保育Ⅰ	1	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別支援保育Ⅱ	1	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	(教育課程及び教育方法・技術論を含む)		
	幼児理解の理論及び方法		教育課程及び教育方法・技術論	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		子ども理解	1	
教育実践に関する科目	教育実習	5	保育・教育相談支援	1	
			教育実習指導Ⅰ	1	
	学校体験活動	教育実習Ⅰ	1		
教職実践演習	2	教育実習指導Ⅱ	1		
		教育実習Ⅱ	3		
		保育・教職実践演習	2		

2) 栄養教諭二種免許

免許法施行規則に定める科目区分等		
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	5
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	
道徳、総合的な学習の時間等及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	3
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	
	生徒指導の理論の及び方法	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2
	教職実践演習	2
合 計		12

左記に対応する本学開設授業科目		
授業科目	単位数	
	必修	選択
教育原理	1	
教職原論	2	
教育制度論	1	
教育心理学	2	
特別支援教育論	1	
(教育方法に含む)		
道徳・総合的な学習の時間及び特別活動の指導法	1	
教育方法	2	
(生徒指導・教育相談に含む)		
生徒指導・教育相談	2	
栄養教育実習	2	
教職実践演習(栄養教諭)	2	
合 計	16	

四 卒業者(令和3年度)の教員免許状の取得の状況に関すること。

学科	免許の種類	人数
幼児保育学科	幼稚園教諭2種免許	110名
健康栄養学科	栄養教諭2種免許	14名

五 卒業者(令和3年度)の教員への就職の状況に関すること。

学科	就職先	人数
幼児保育学科	幼稚園(認定こども園含む)	36名

六 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。

1. 教職課程委員会において教職に関するカリキュラムの検討を行っている。
2. さいたま市との教育コラボレーション(さいたま市教育委員会委嘱「学校における食育」研究発表会)
3. 教育実習に際しては、教育効果を高めるため、入念な事前指導を実施し、又、実習後は事後指導や実習報告会において振り返りを行い、実践的な知識を身に着けることとしている。なお、幼児保育学科においては模擬保育室を活用した実践的な授業を取り入れ、事前指導の充実を図っている。